

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

5-II-6

5-II
-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地場産業の活性化
	節 II. 伝統文化・地場産業の振興			
事業(施策)名	6 サドメシラン認定事業		事業主体	佐渡市産業振興課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 佐渡産食材を内外にアピールすることで、島内生産者の販路拡大と佐渡ファンの獲得を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 佐渡産食材、加工品を使ったメニューを提供する飲食店等を「サドメシラン※認定店」として認定、登録し、各種媒体を活用し、周知を行う。 ※「佐渡産品提供店(サドメシラン)」 佐渡産の農林水産物や加工品を積極的に取り扱う店舗やホテルを認定し、地場振興を図る本市事業</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● 現在、市内外における認定店舗は80店舗を超えている。(市外は約60店舗) 市外認定店舗における佐渡産品の流通額は約2億円に達している。H28年度は新たに11店舗が認定されている。</p> <p>● 認定店舗には、佐渡のポスターやパンフレットの掲示をお願いし、佐渡のPRに努めている。また、食材や販路の紹介により、佐渡産品の使用拡大に努めている。</p>			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■ 現状の販路を維持しながら、より高品位・高級感のあるホテル・店舗等への販路拡大が不可欠である。これにより、さらに佐渡ブランドの高品位化と訴求力の向上を目指す。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■ 認定店舗へより多くの方が足を運ぶようなPR活動が必須である。県内においては情報誌を通じ、首都圏においては準市民への働きかけやガイドブックの作成により集客を図る。 ■ 年1回の実績報告等において佐渡産食材の仕入先等記載による品質の確認を行うとともに、随時店舗訪問や情報交換などを行い、佐渡産食材の使用状況の確認を定期的実施する。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) · c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) · c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) · C]</p> <p>◇ 現状では、認定店舗に対する利点が少ないため、今後、準市民を巻き込んだPR活動を積極的に行い、店舗の売り上げに貢献できるよう働きかける。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。